

VISION

超スマート モビリティ社会の実現に向けて

交通事故ゼロ・環境負荷ゼロ・移動の無駄ゼロを目指し 戦略的な標準化活動により
自由な移動の喜びとモビリティ産業の魅力を増し 業界のレジリエンスを高める

取り組むべき課題

重点領域

**先進安全・自動運転、知能化、SDV、電動化、資源循環、
社会インフラ協調**について戦略的な標準化活動を行う

- ①基盤的活動（安全性確保、性能・品質担保等）
 - ・日本からの提案数は維持しつつ、他国提案に柔軟に対応できる効率的な運営体制を構築する
 - ・価値の高い効果的な規格文書とする
- ②戦略的活動（市場拡大・新市場創出に資する）
 - ・学術団体との連携を強化する
 - ・研究・開発段階から規格化領域を検討する
 - ・自動車周辺へ規格化検討領域を拡大する
- ③共通基盤活動
 - ・標準規格に関して持続的にリソースを輩出できる仕組みを構築する

対応方針

重点領域の戦略的推進にむけて
自技会内会議体・部会を超えた推進体制を整備する

- ① 規格開発の量を一定数維持しつつ質への変換を図る
 - ・規格活用に関するKPIを設定する
 - ・基準と標準の連携を強化する
 - ・認証制度の活用を促進する
- ② 研究開発段階からの戦略的な標準化活動を実践する
 - ・活動テーマの抽出・選定・着手を行う
 - ・競争段階からの標準化着手事例の検討・着手を行う
 - ・自動車周辺団体との連携を強化する
- ③ 標準化人材の認定登録制度等を検討・着手する
 - ・若手人材を積極登用する
 - ・ベテラン人材の活用をサポートする
 - ・ISO等国际機関要職の人材要件を整備検討する

規格会議ロードマップ

2026年改訂版

		2025	2030	2035	2040	2045	2050
基本方針		交通事故ゼロ・環境負荷ゼロ・移動の無駄ゼロを目指し 戦略的な標準化活動でモビリティ産業の魅力とレジリエンスを高める					
社会課題	安全安心なモビリティ社会	交通事故ゼロ					
	環境負荷低減	CN 環境負荷ゼロ					
	新価値創造	移動の無駄ゼロ					
重点領域	先進安全	先進安全技術普及		先読み情報(V2N)			
	自動運転	L3導入	L4導入	L3、4普及拡大		L3、4成熟	
	電動化	EV導入期		EV普及		EV成熟	
資源循環	SDV導入期		SDVシェア拡大				
SDV	AI技術革新		V2N拡大				
知能化							
社会インフラ協調							
基盤的活動 (安全性確保、性能・品質担保等)	ロードマップ 定期フォローアップ	規格開発 質への変換 ・ 規格活用のKPI設定 ・ 基準と標準の連携を強化 ・ 認証制度の活用促進		ロードマップ 定期フォローアップ	フォローアップ により対応方針設定		技術軸毎に各部会で検討し、5か年計画に反映
戦略的活動 (市場拡大・新市場創出に資する)	ロードマップ 定期フォローアップ	研究開発段階からの標準化活動の実践 ・ 活動テーマの抽出・選定・着手 ・ 競争段階からの着手 ・ 自動車周辺団体との連携着手		ロードマップ 定期フォローアップ			
共通基盤活動	ロードマップ 定期フォローアップ	戦略的活動に資する 運営体制の検討 人材の持続的輩出・活用制度 ・ 人材要件、制度検討 ・ 制度試行 ・ 検証		ロードマップ 定期フォローアップ			

**超スマート
モビリティ・社会**